

平成20年度 あいち海上の森保全活用事業の取組状況

「あいち海上の森条例」（平成18年4月1日施行）に基づき、海上の森を愛知万博の理念や成果を継承する「愛知万博記念の森」と位置付け、将来にわたり保全活用するとともに、県民参加のもとに森林や里山に関する学習と交流の拠点として、里山保全活動、森林環境教育を始め、情報発信や人材育成などの幅広い取組みを展開しました。

主な取組

愛知万博記念の森としての保全のための事業

里山保全事業、森林育成事業、森林維持管理事業、自然環境調査事業

森林や里山に関する学習と交流のための事業

参加体験事業、自然環境・里山保全等の普及啓発事業、指導者養成・情報発信事業
 幼児森林体験のマニュアル作成とフィールド整備

愛知万博継承事業

愛知万博の理念・成果を発展させるため、人と自然の共生国際フォーラムの開催、あいち海上の森大学の開校

取組の状況

里山保全や森林の育成、森林の維持管理などに取組みました。

事業項目	取組状況
里山保全事業	耕地管理 県有農地（体験学習プログラム「里の教室」で使用）の適切な維持管理のため、委託業務を実施 0.62 ha
	水路浚渫等整備 県有農地への用水確保のため、水路へ流入した土砂の浚渫などの工事を実施
	竹林整備 県有地内の竹林を適切に管理するため、竹林の伐採・整備を実施 0.19 ha
森林育成事業	人工林整備 人工林の健全な育成のため、過密林分の間伐等を実施 3.52 ha
	広葉樹林整備 生物多様性の確保、里山景観の維持等を図るため、広葉樹林の整備を実施 0.97 ha
	針広混交林整備 人工林を自然性の高い混交林へ誘導するため、伐採を実施 3.53 ha
森林の維持管理事業	林道・作業道の補修等管理 森林の適切な管理や活動のために利用する林道及び作業道の維持管理工事を実施
	歩道等の整備・補修 森林の適切な管理や活動のために利用する歩道の維持管理工事を実施
境界整備費	境界管理のため、境界柵設置工事等を実施
遊歩施設整備	遊歩施設の適正な管理を図るため、遊歩道補修等の工事を実施
事業用地維持費	事業用地の適正な管理を図るため、歩道整備、危険木伐採、草刈、センター内の除草等を実施

体験学習の実施、自然環境・里山保全等の普及啓発事業、人材の育成、連携促進などに取り組みました。

事業項目		取組状況			
		行事名等	定員	参加数	延べ人員
参加体験事業	体験学習プログラム	森の教室（親子編） 2回	50	80	80
		森の教室（入門編）4回1セット	50	23	49
		森の教室(技能向上セミナー)4回	20	29	41
		里の教室 9回1セット	50	110	354
		里山のものづくり 4回	30	93	110
	調査学習会	海上の森の植物	30	48	48
		海上の森の夏キノコ	50	60	60
		海上の森の水生物	30	45	45
		海上の森の昆虫	30	40	40
		海上の森の秋キノコ	50	62	62
		海上の森の動物	30	26	26
		海上の森の野鳥	30	39	39
	海上の森ツアー	海上の森ツアー 4回	50	199	199
里山遊歩施設利用プログラム	遊歩施設セルフガイドブックを作成				
	森の楽校（遊歩施設） 4回	50	176	176	
窯の歴史館学習会	古窯から「せともの」を学ぶ6回	20	46	46	
指導者養成	ムーアカデミーセミナー	身体障害者にも対応した森林体感プログラムの指導者育成 8回1セット	30	19	83
	森林ボランティア研修	森林ボランティアを始めるため1回	20	9	9
自然環境・里山保全等の普及啓発事業	企業との連携	協定締結企業 3社 INAX、第一工房、ナゴヤキャッスル			
	全国の里山保全活動や施設との連携	あいち自然環境団体・施設連絡協議会（あいち自然ネット）の活動			
	学習プログラムの作成・提供	学習教材「冬の実験観察ガイドブック」を作成			



体験学習プログラム（里の教室）



調査学習会（水生昆虫）



ムーアカデミーセミナー

海上の森の自然環境を保全するための基礎的な調査と情報整理・発信に取り組みました。

事業項目		取組状況
自然環境調査事業	森林モニタリング調査	森の遷移を長期的にモニタリングするため、自然林の植生状況を調査 5か所
	希少動物の生息状況調査	ムササビ及びホトケドジョウが生育する里山環境を維持保全するための基礎とするため、その生息状況を調査
	猛禽類の生息状況調査	里山環境を維持保全するための基礎とするため、オオタカ・ハチクマ等の生息状況を調査
自然環境情報等の収集整理・情報発信		<ul style="list-style-type: none"> ・海上の森の自然環境情報の収集・展示 ・データベースの更新 書籍の購入 ・「ムア카데미通信」の発行 4回

愛知万博の理念を継承発展させるための事業に取り組みました。

事業項目	取組状況			
	内容	日時	場所	参加数
人と自然の共生国際フォーラム	テーマ「自然の叡智を再考する」 ～里山から学ぶ持続可能な社会づくり～ ・基調講演 ・課題提起・意見交換 ・交流会 ・パネルディスカッション ・現地見学会	平成20年11月14～15日 人と自然の共生国際フォーラム実行委員会を組織して実施 委員会2回開催 委員長 稲垣副知事	愛知県立大学講堂 海上の森及び県内森林林業活動現地 講演者 ケビン ショート 川井秀一 天野正博 川勝平太 蔵台光一郎 小澤紀美子	約500人
あいち海上の森大学	森林再生コース 国際交流コース 里山文化コース 国際ソロプチミスト瀬戸から国際交流コース留学生へ奨学金の支給(上限5万円/人) 大学運営委員会で内容検討 2回開催	平成20年7月～平成20年12月 7/13開校式 12/7閉校式	あいち海上の森センター 研修室・海上の森 学長 マリ クリスティーヌ氏 副学長 稲垣副知事	修了/受講 森 16/19 国 3/6 里 24/27 計 43/52



人と自然の共生国際フォーラム
(基調講演：ケビン氏)



あいち海上の森大学
(現地視察：国際交流コース)

センターの適正な運営管理を図るとともに、センターの取組全般にわたる意見を聞く「海上の森運営協議会」を開催しました。

事業項目	取組状況
センターの管理・運営	施設修繕、清掃・警備、施設管理・点検、機器リース、廃棄物処理、塗装、企画調整、樹木管理など 施設利用者数（平成20年2月末現在） あいち海上の森センター 19,862名（通算 61,238名） 有料施設利用件数 工作室 9件 研修室 8件 スタンプラリーの実施（H19.10.20から参加者790人） センター入館者5万人目プレゼント実施（8月31日）
海上の森運営協議会	2回（9月19日・3月23日）開催 平成20年度海上の森保全活用事業の取組 平成21年度海上の森保全活用事業の事業計画 森林整備計画 等



センター入館5万人目プレゼント

幼児向けの森林体験活動を推進するため、推進会議を開催し、マニュアルの作成とフィールドの整備を行いました。

事業項目	取組状況
幼児森林体験推進会議	幼児教育専門家、「森の幼稚園」活動に取組むNPO、森林生態学の有識者などからなる会議を開催 4回開催
幼児森林体験マニュアル集の作成	推進会議での検討を基に、幼児森林体験マニュアルを作成
幼児森林体験フィールドの整備	3月20日 オープン、面積 1.2ha
公開講座の実施	3月20日 開催



推進会議



体験フィールド